

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2024年1-3月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は268社から回答があった。景況判断DIは▲18となり、前期調査から7ポイント悪化した。来期の見通しは▲19となり、1ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点については、「従業員の不足」、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も高かった。

以下、その他業況感DIの内訳

前期(2023年10-12月)に対して、

- ・売上高DIは▲10で、22ポイント悪化
- ・処理量DIは▲18で、26ポイント悪化
- ・営業利益DIは▲11で、6ポイント悪化
- ・資金繰りDIは▲2で、同水準
- ・借入難易度DIは9で、4ポイント改善
- ・設備投資DIは3で、3ポイント改善
- ・従業員数DIは▲7で、4ポイント悪化
- ・契約単価DIは、収集運搬が8で、同水準
処分が5で、2ポイント悪化

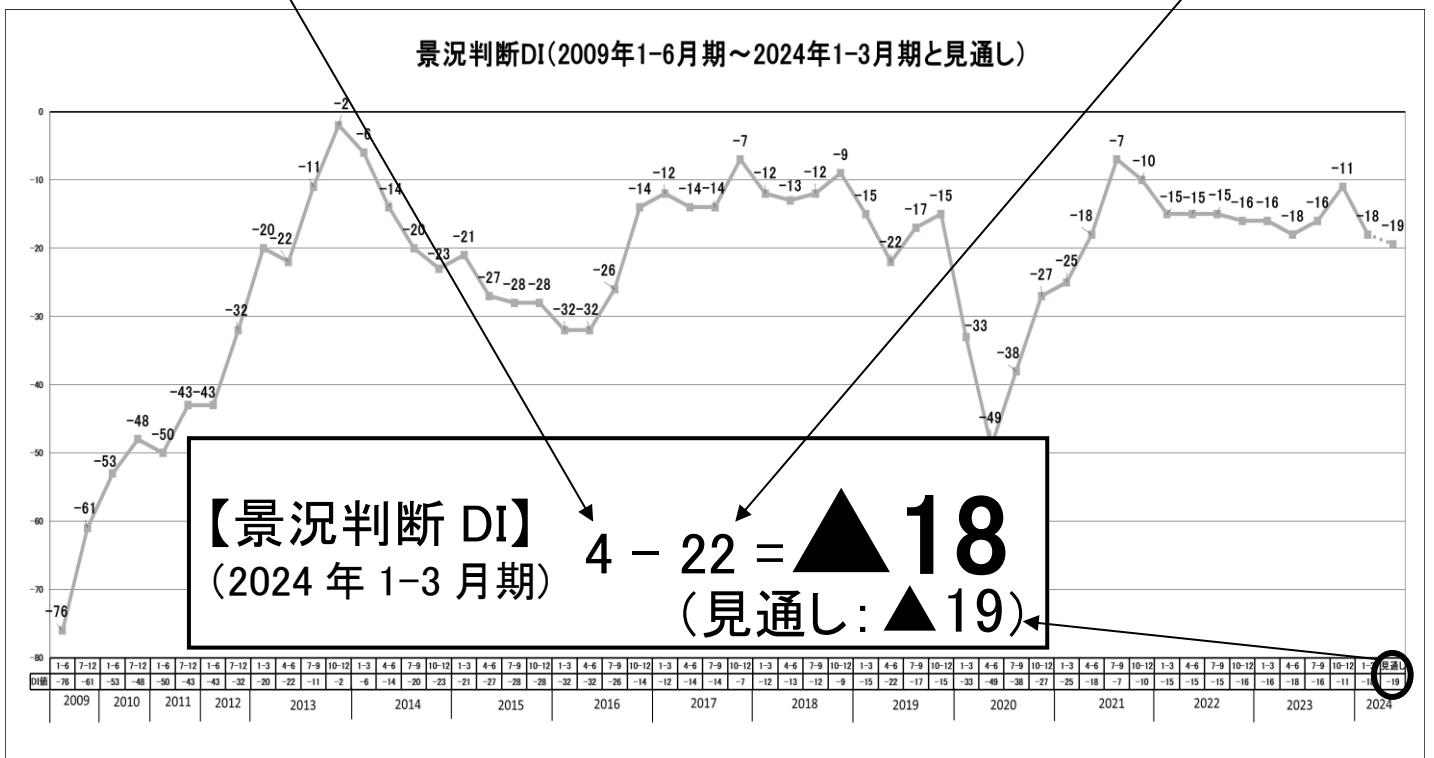
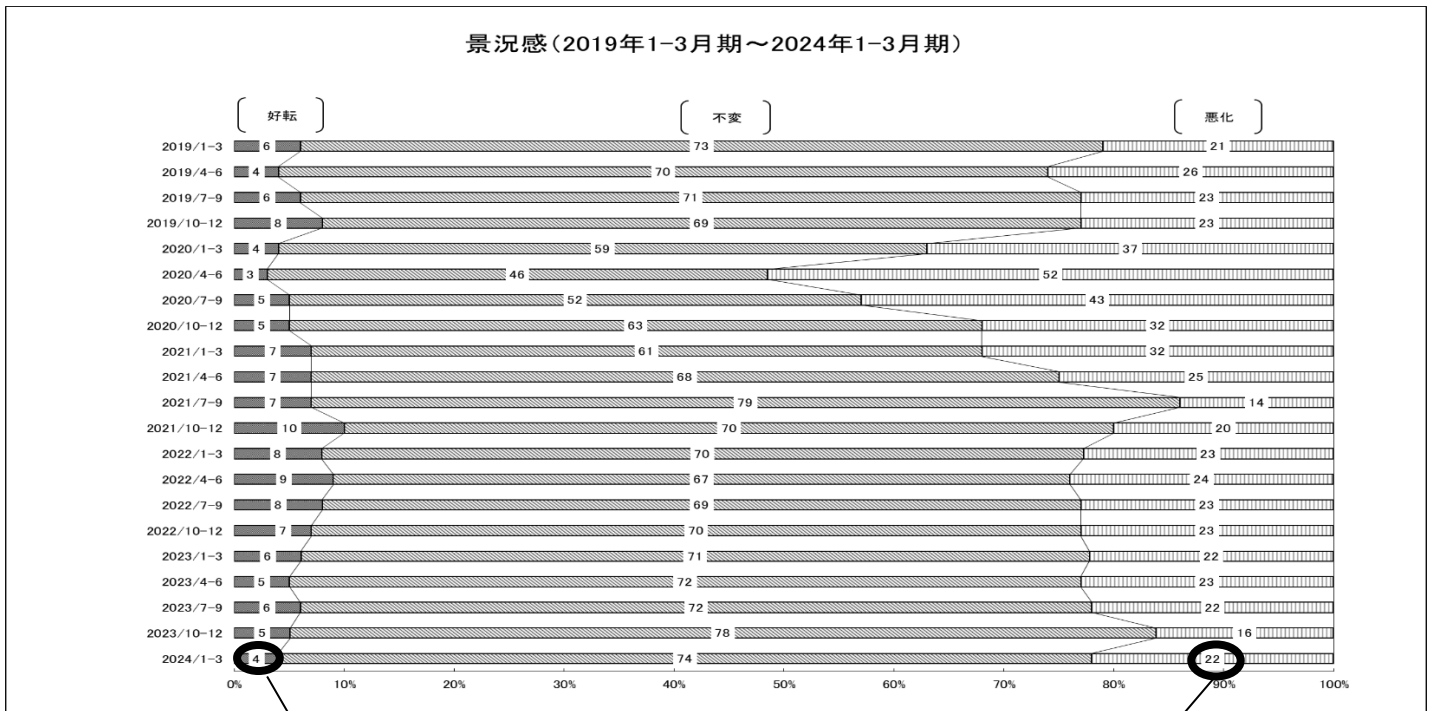
- 売上高の動向については、前年同期比で8.7%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で3.8%増となった。
- 経常利益率については、前年同期比で0.8%減となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

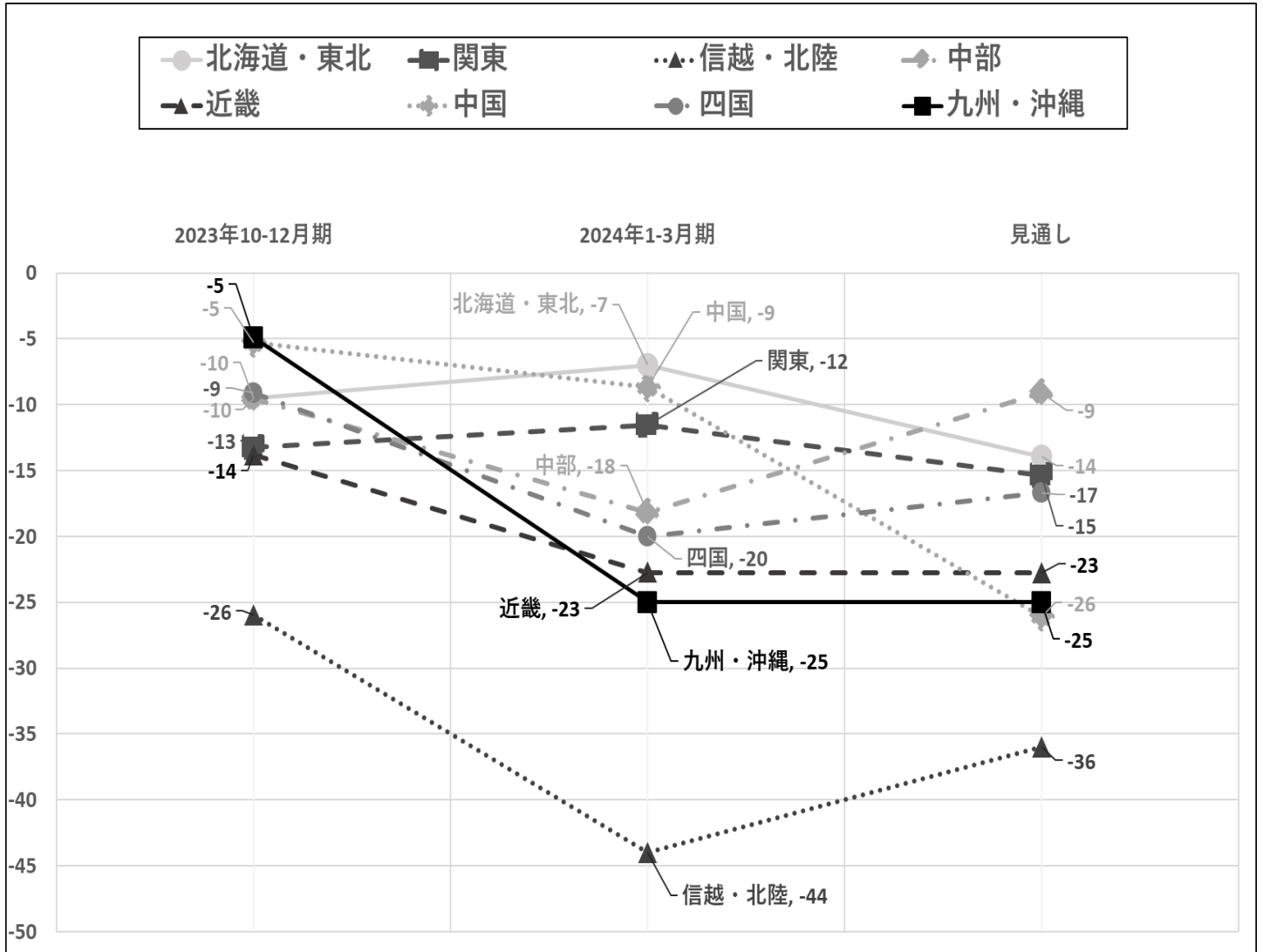
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」-「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲18 となり、前期から 7 ポイント悪化した。
見通しは▲19 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「北海道・東北」、「関東」が改善した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「信越・北陸」、「中部」、「四国」が改善する見込みとなっている。(3 ページ参照)



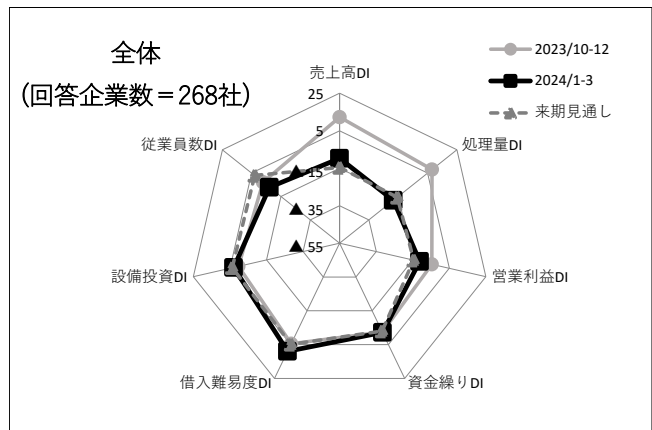
地域別景況判断 DI



	全体平均	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2023年10-12月期	-11	-10	-13	-26	-10	-14	-5	-9	-5
2024年1-3月期	-20	-7	-12	-44	-18	-23	-9	-20	-25
見通し	-21	-14	-15	-36	-9	-23	-26	-17	-25

(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

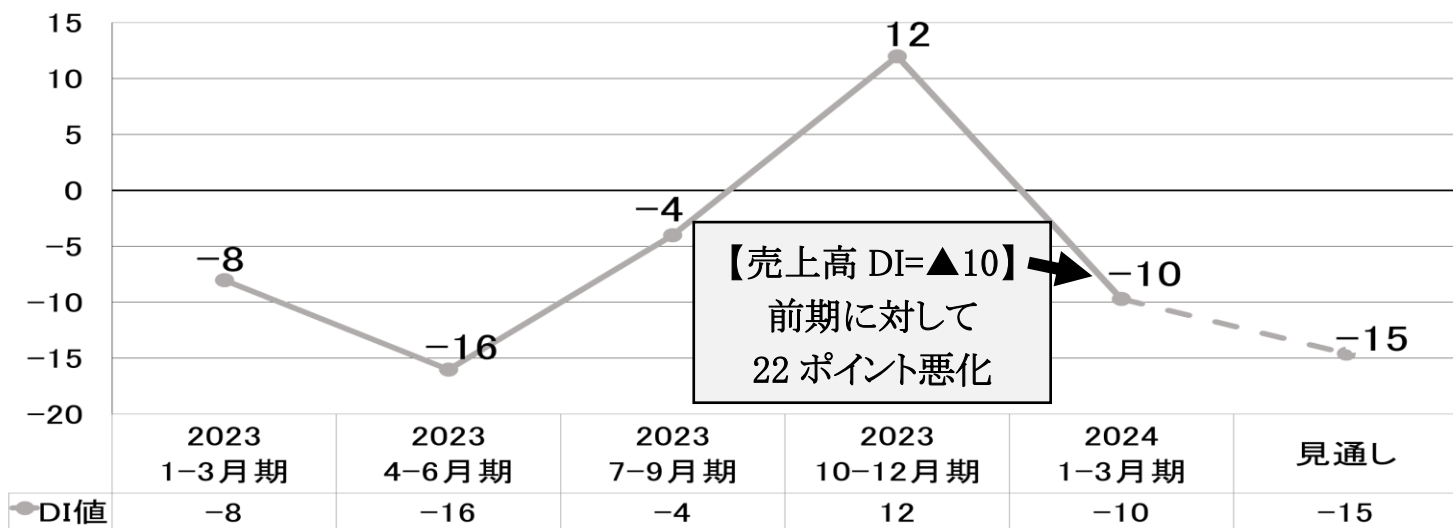
- 前期から借入難易度 DI、設備投資 DI、が改善した。
- 見通しは、処理量 DI、設備投資 DI、従業員数 DI が改善する見込みとなっている。



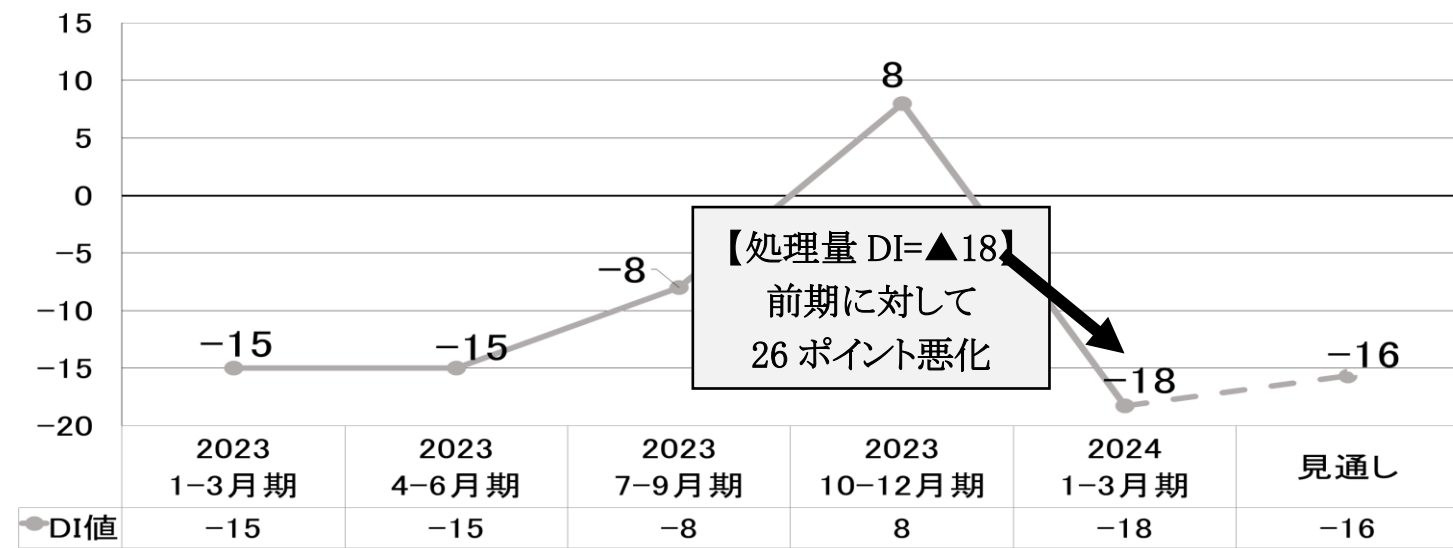
以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は▲10 となり、前期と比べて 22 ポイント悪化した。
見通しは▲15 となり、5 ポイント悪化する見込み。
- ・処理量 DI は▲18 となり、前期と比べて 26 ポイント悪化した。
見通しは▲16 となり、2 ポイント改善する見込み。
- ・営業利益 DI は▲11 となり、前期と比べて 6 ポイント悪化した。
見通しは▲15 となり、4 ポイント悪化する見込み。
- ・資金繰り DI は▲2 となり、前期と比べて同水準となった。
見通しは▲3 となり、1 ポイント悪化する見込み。
- ・借入難易度 DI は 9 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは 5 となり、4 ポイント悪化する見込み。
- ・設備投資 DI は 3 となり、前期と比べて 3 ポイント改善した。
見通しは 4 となり、1 ポイント改善する見込み。
- ・従業員数 DI は▲7 となり、前期と比べて 4 ポイント悪化した。
見通しは 3 となり、10 ポイント改善する見込み。

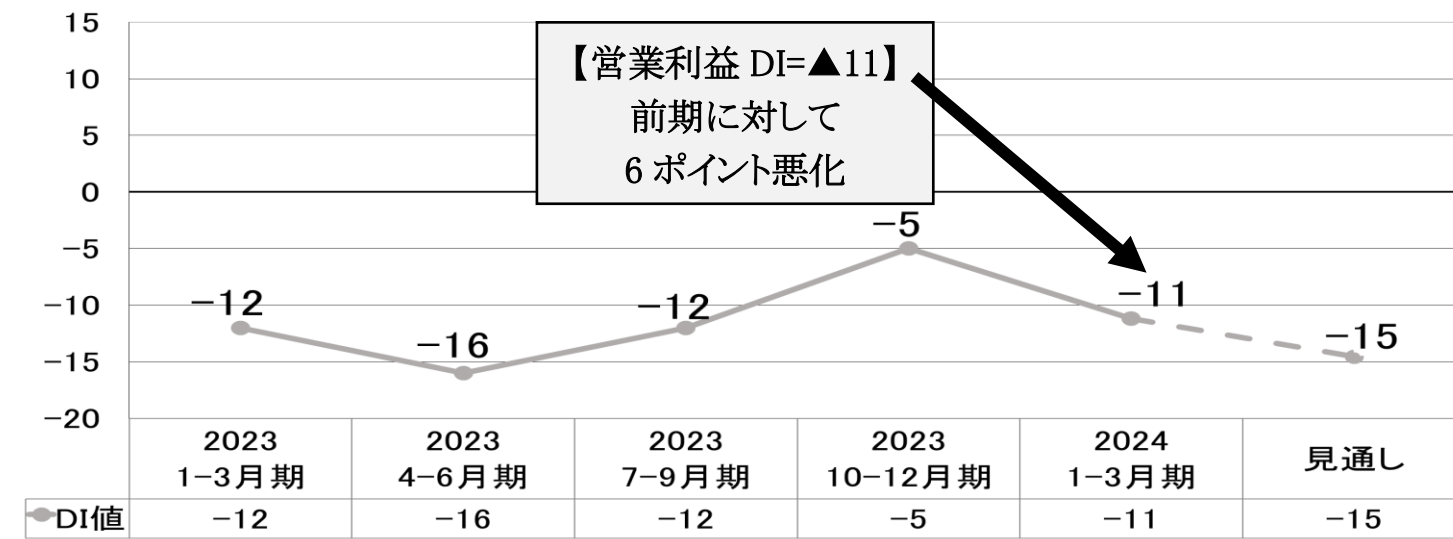
売上高DI (2023年1-3月期～2024年1-3月期と見通し)



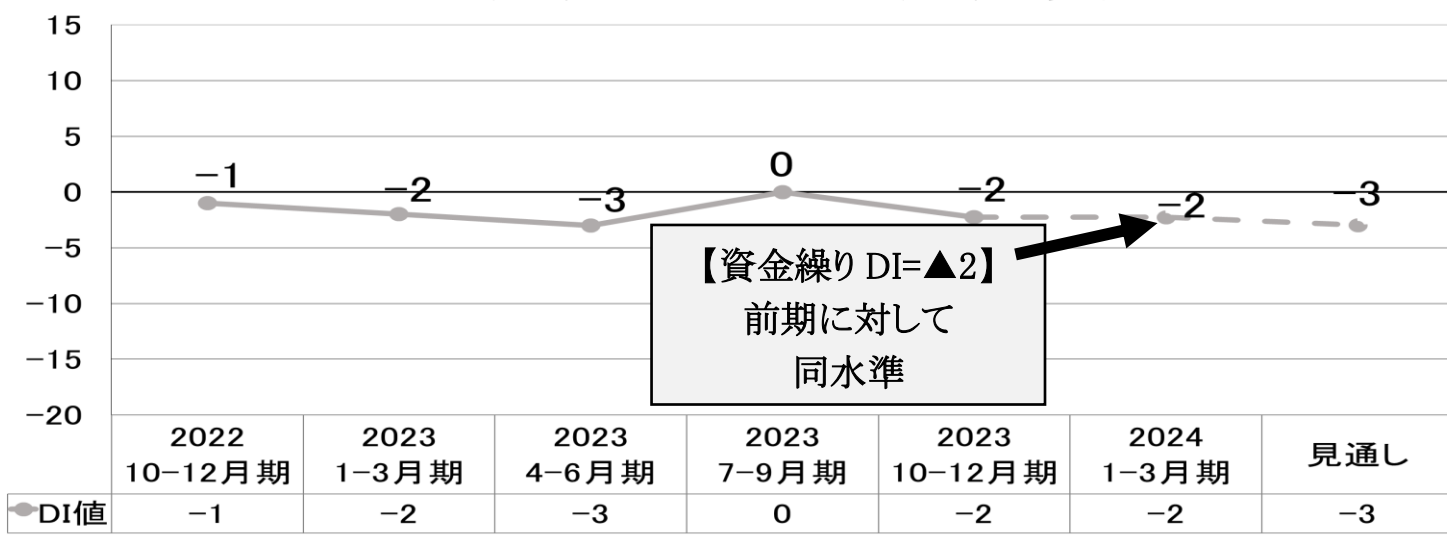
処理量DI (2023年1-3月期～2024年1-3月期と見通し)



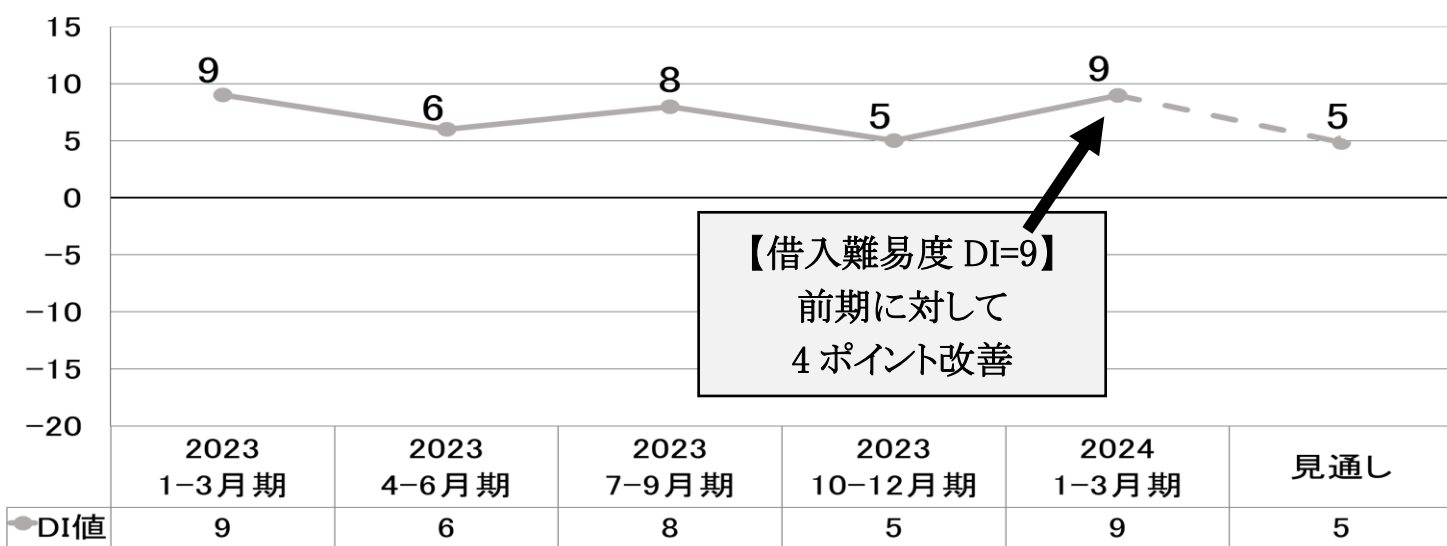
営業利益DI (2023年1-3月期～2024年1-3月期と見通し)



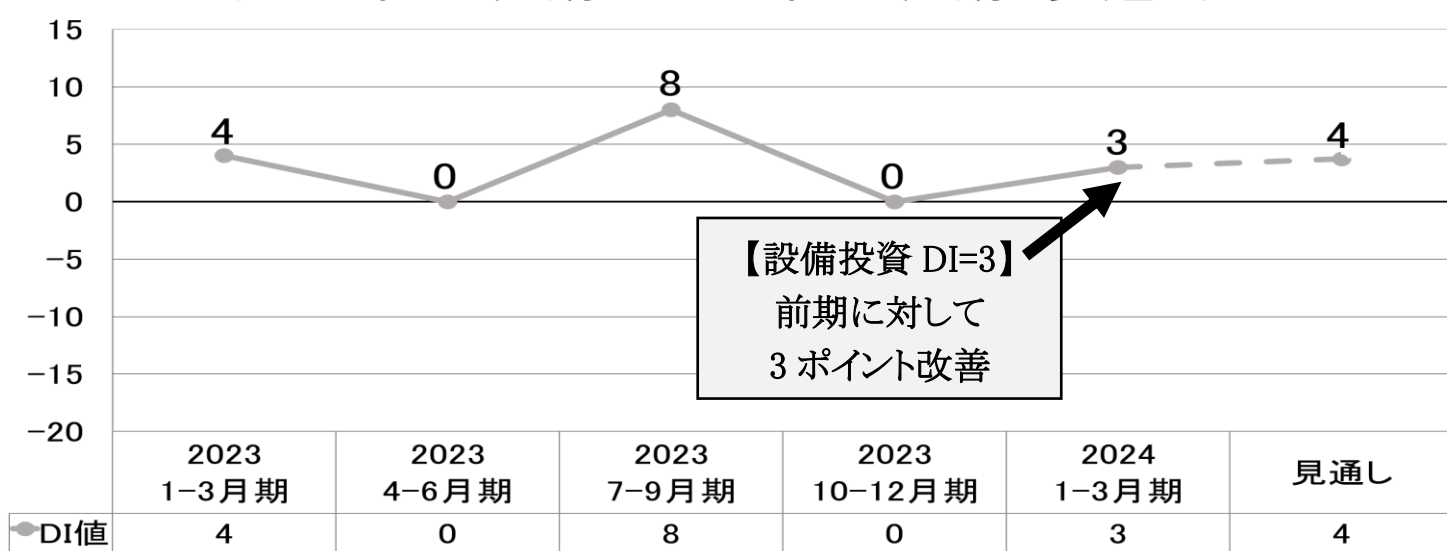
資金繰りDI (2023年1-3月期～2024年1-3月期と見通し)



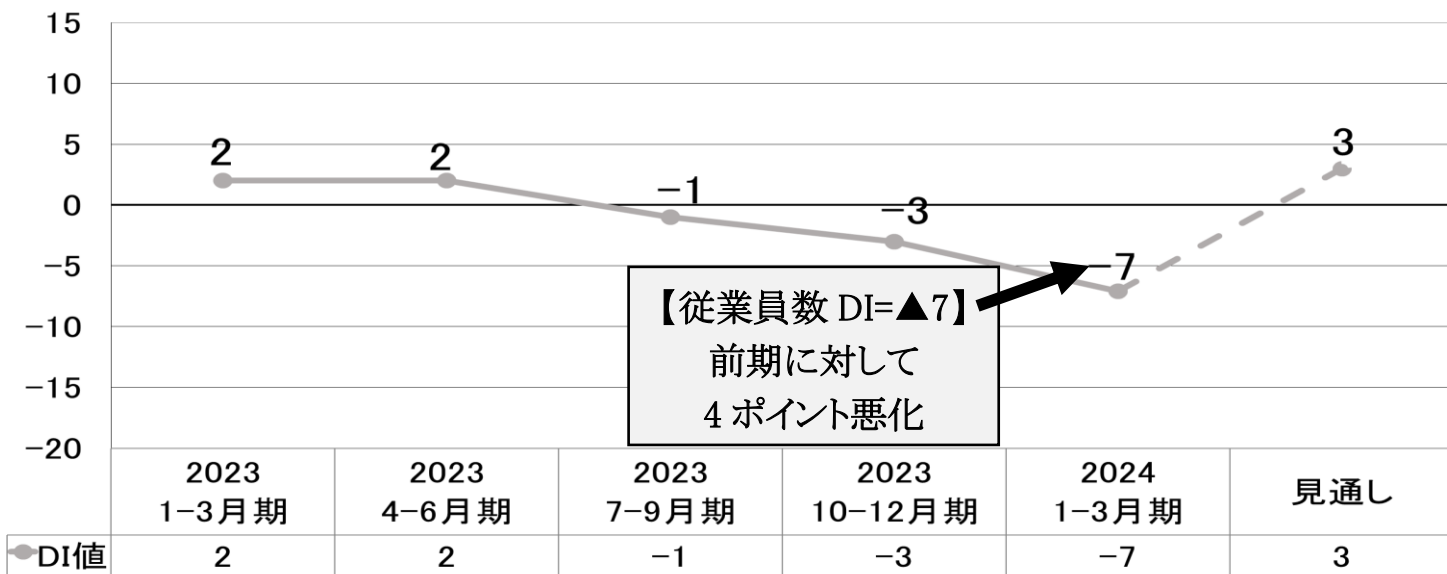
借入難易度DI (2023年1-3月期～2024年1-3月期と見通し)



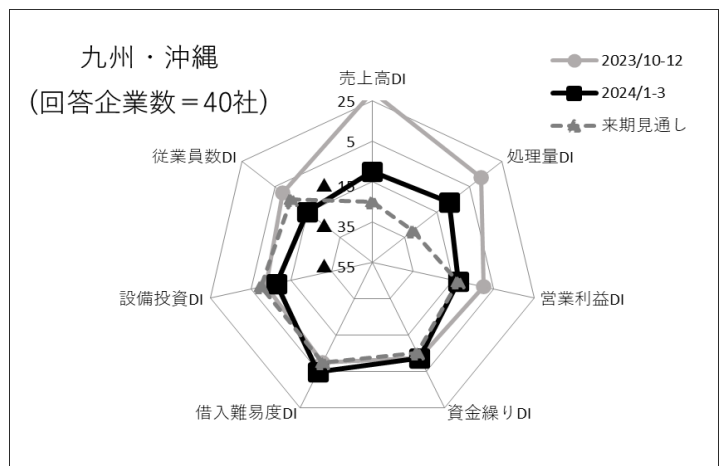
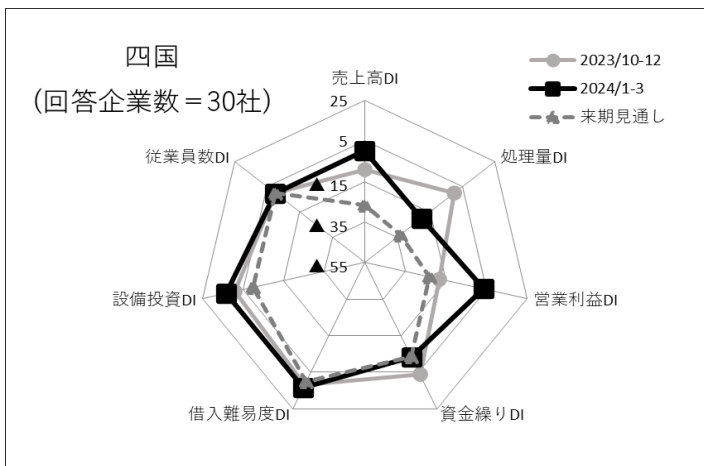
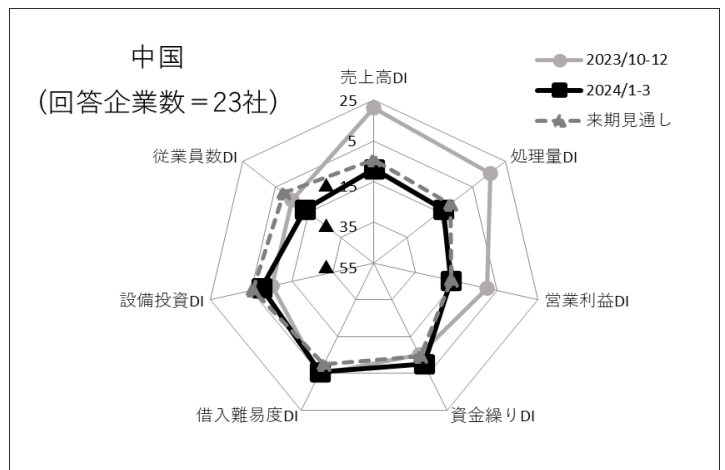
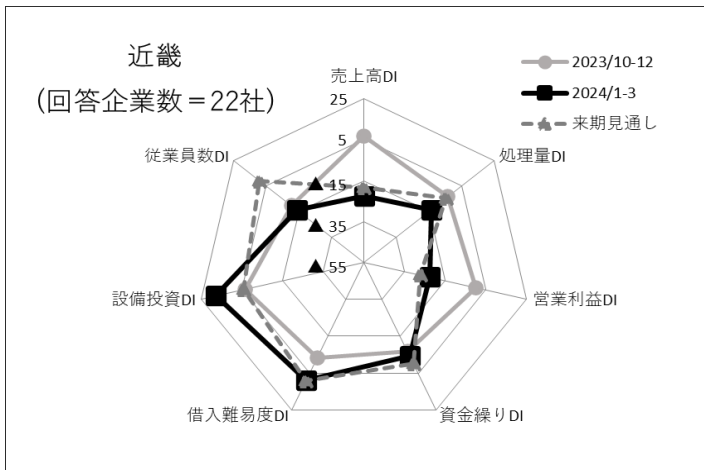
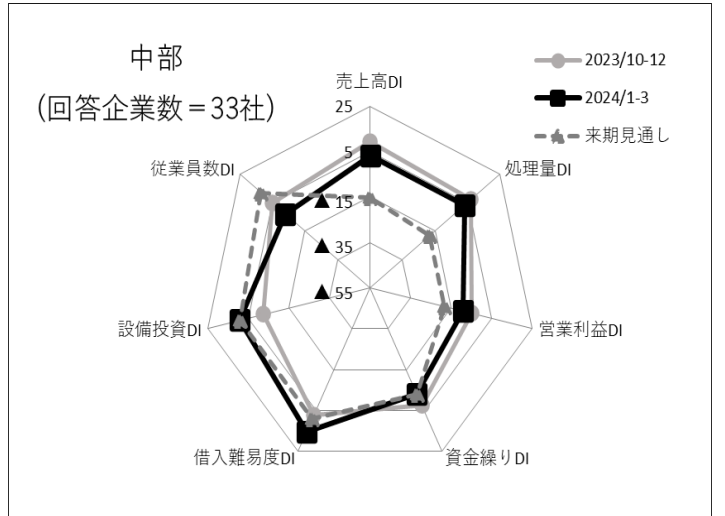
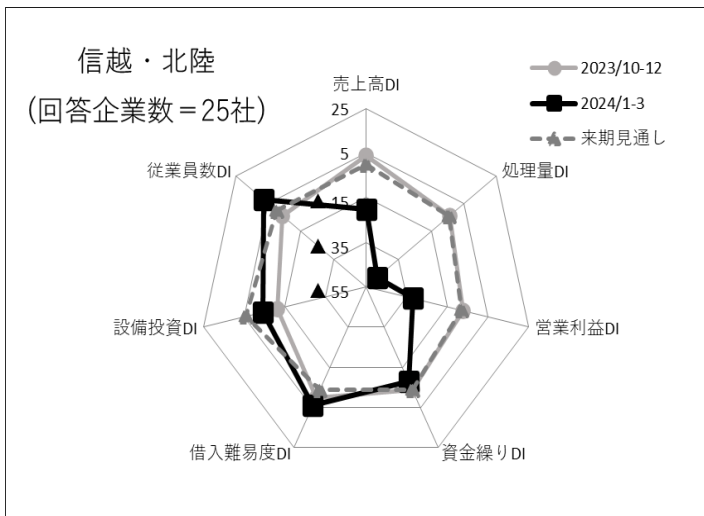
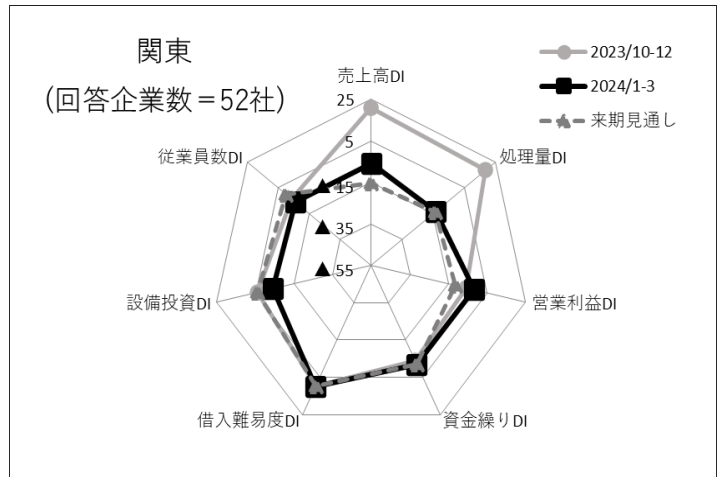
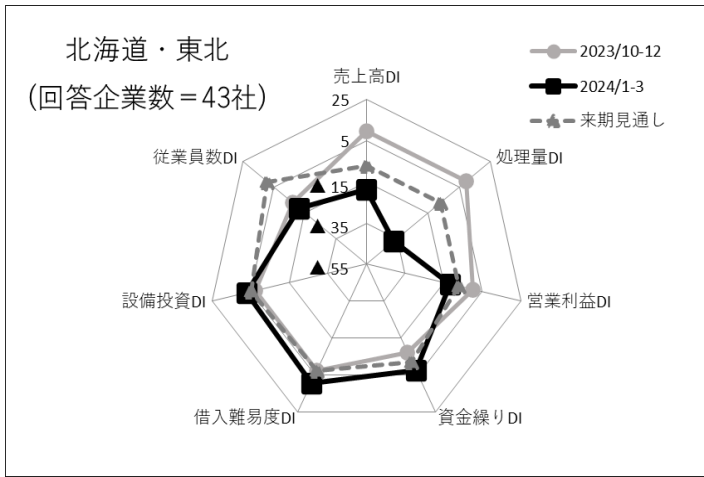
設備投資DI (2023年1-3月期～2024年1-3月期と見通し)



従業員数DI (2023年1-3月期～2024年1-3月期と見通し)

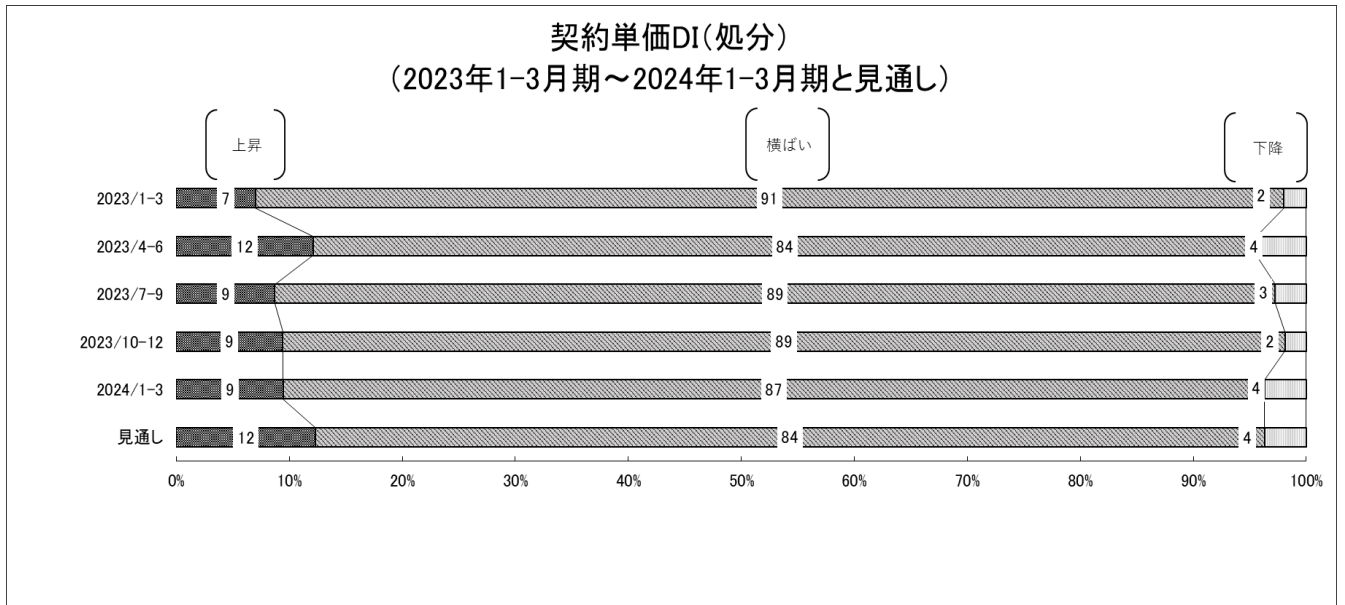
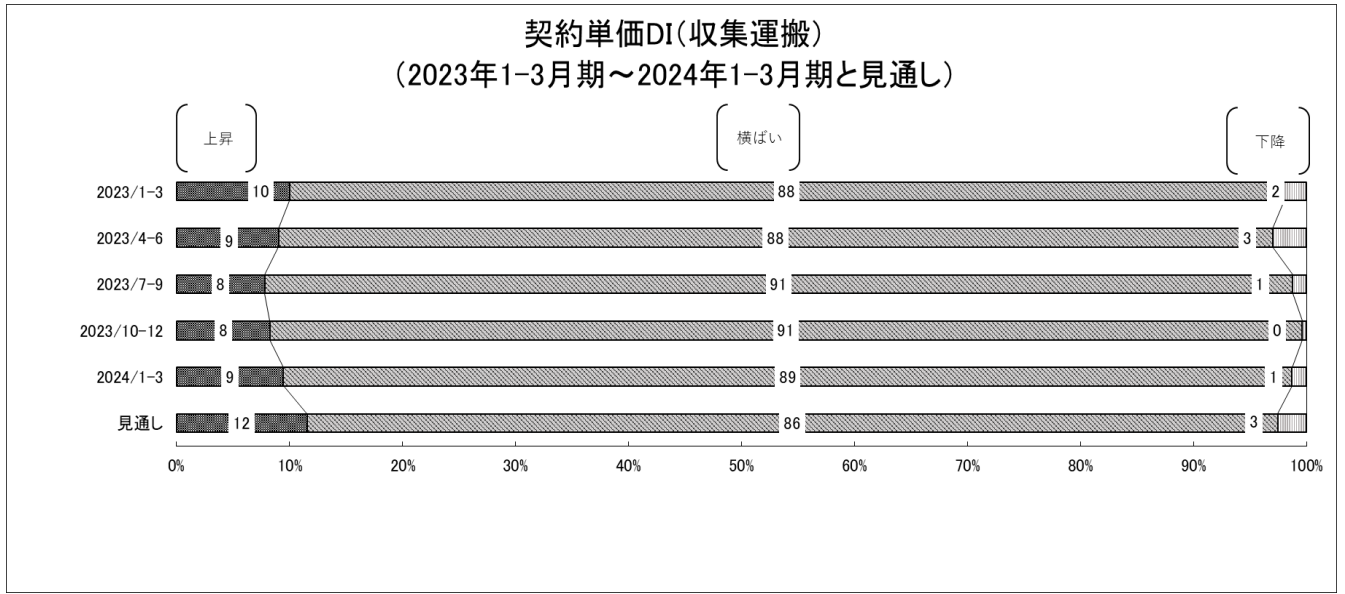


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 8 となり、前期と比べて同水準となった。
見通しは 9 となり、1 ポイント改善する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 5 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは 8 となり、3 ポイント改善する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、8.7%増となった。

有効回答数:137社

単位:千円

前年売上高	2023年1月	2023年2月	2023年3月	平均
	8,669,211	9,291,881	12,248,886	10,069,993
今年売上高	2024年1月	2024年2月	2024年3月	平均
	8,986,282	10,780,467	13,074,650	10,947,133
前年比	3.7%	16.0%	6.7%	8.7%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、3.8%増となった。

有効回答数:142社

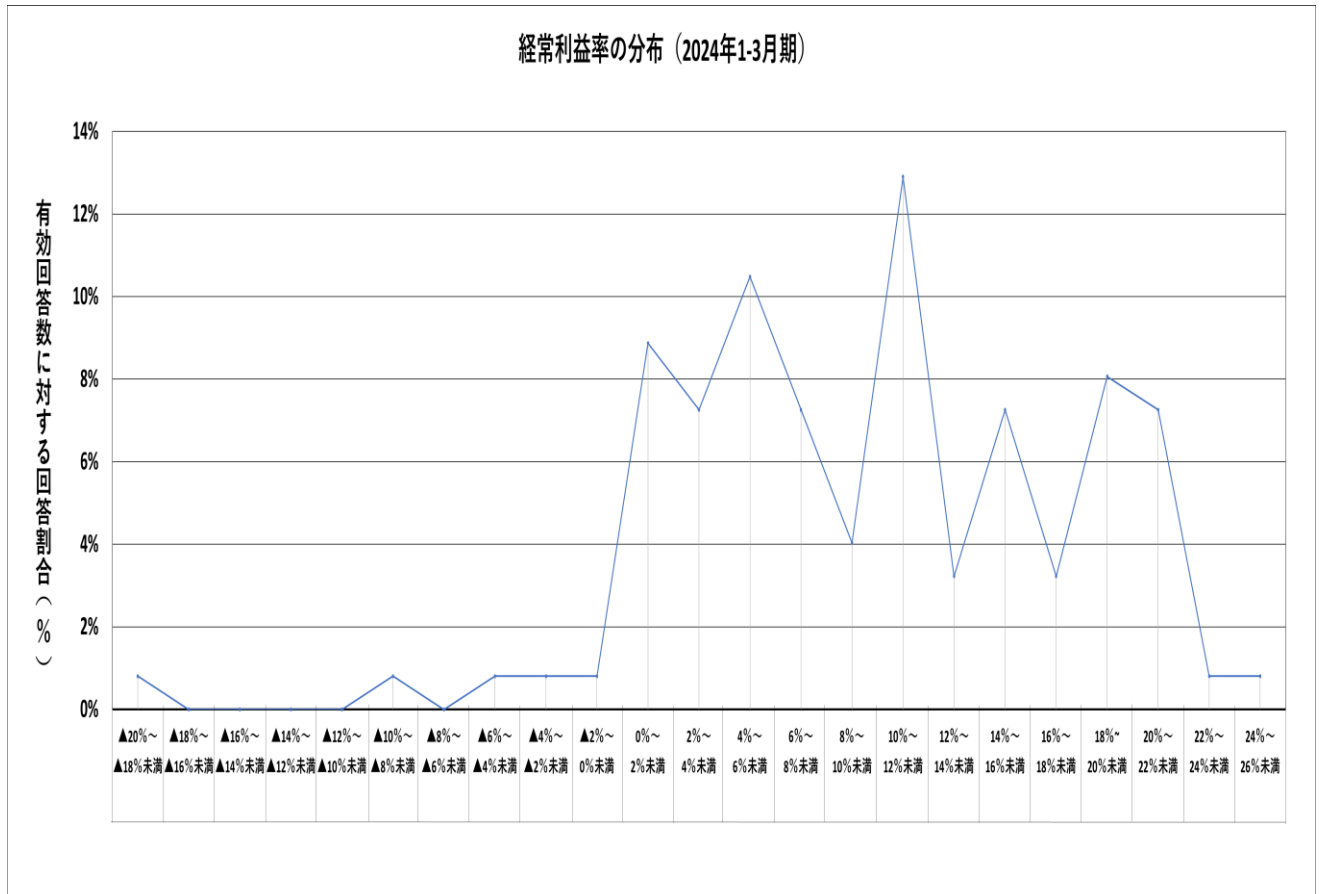
単位:トン

前年処理量	2023年1月	2023年2月	2023年3月	平均
	367,883	392,968	445,608	402,153
今年処理量	2024年1月	2024年2月	2024年3月	平均
	385,954	435,359	430,637	417,317
前年比	4.9%	10.8%	▲3.4%	3.8%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

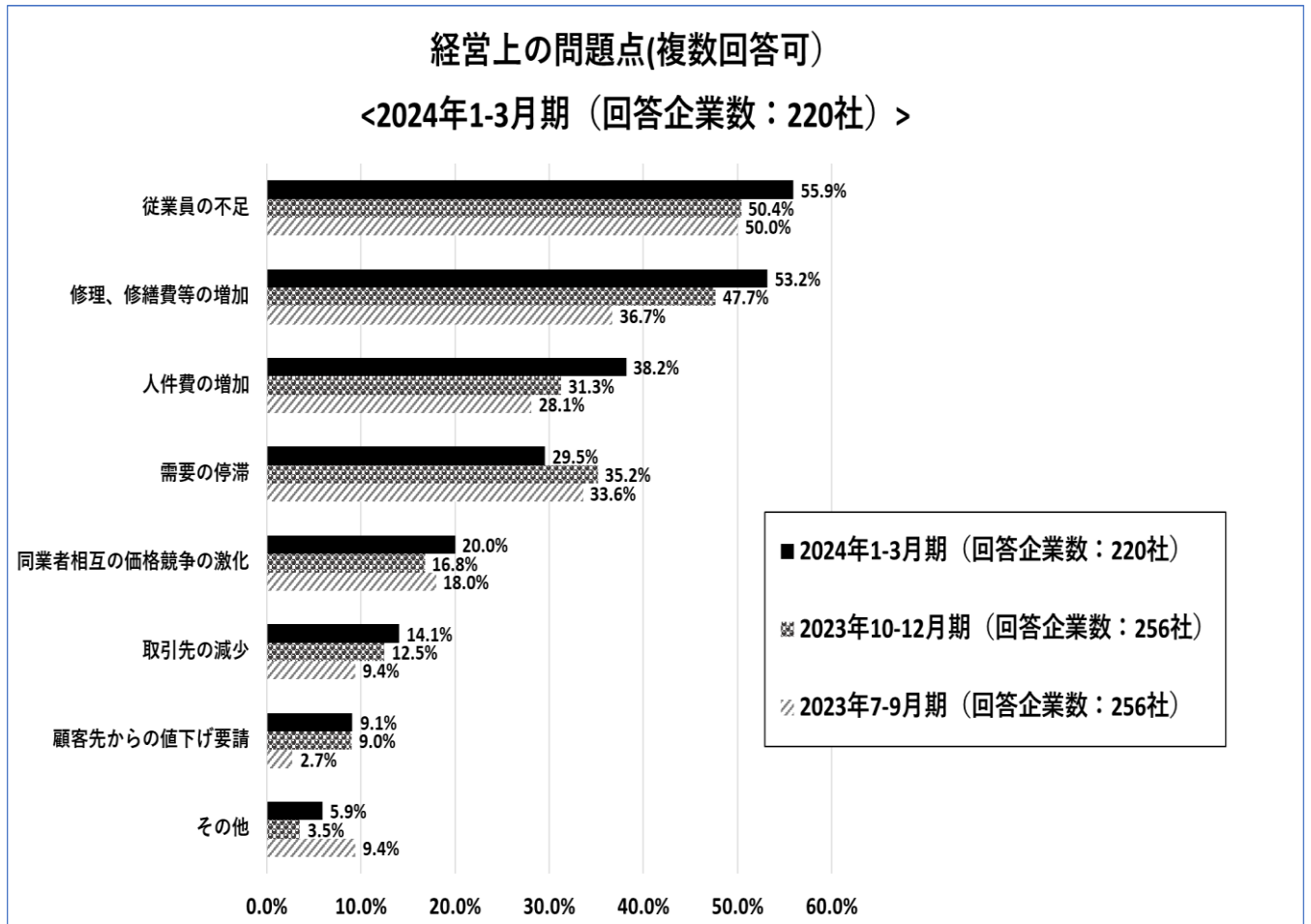
- 経常利益率の平均値は 8.3%で前年同期比で、0.8%減となった。

有効回答数: 124 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、「従業員の不足」の回答割合が最も高かった。
- 「人件費の増加」の回答割合が前期から 6.9%増加した。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・ 光熱費、燃料費、材料費等の高騰
- ・ 物価の高騰
- ・ 最終処分場の受入制限及び処分費の値上げ
- ・ 公共工事等の減少
- ・ 技術教育

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2024年1月9日～1月31日

(3) 調査方法

Webによるアンケート

(4) 回答数・回答率

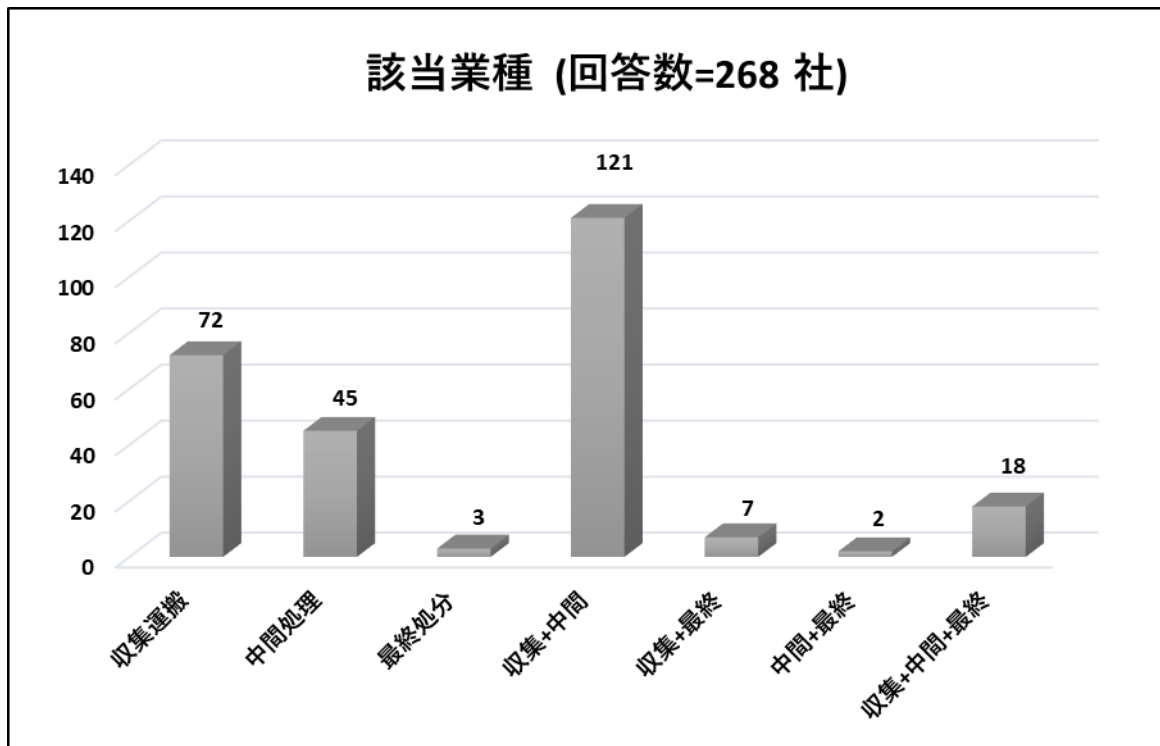
調査依頼企業数	1,251社
回答企業数	268社
回答率	21%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

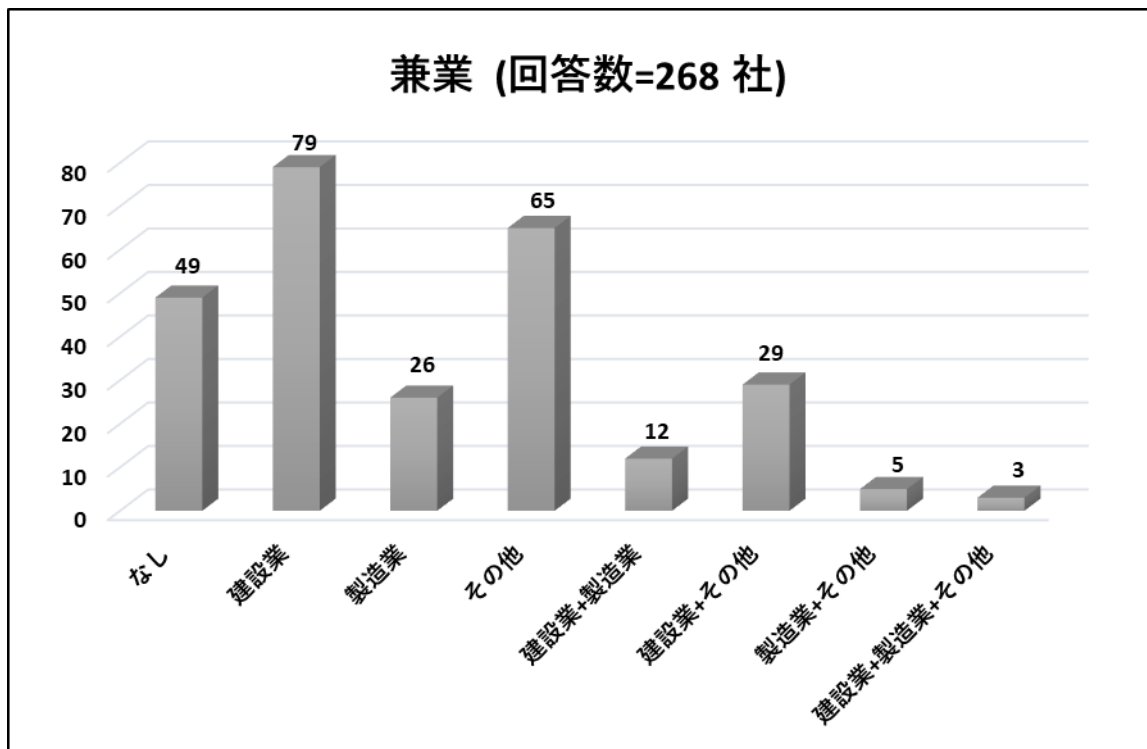
地域	企業数	構成比
北海道・東北	43	16.0%
関東	52	19.4%
信越・北陸	25	9.3%
中部	33	12.3%
近畿	22	8.2%
中国	23	8.6%
四国	30	11.2%
九州・沖縄	40	14.9%
合計	268	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	72	26.9%
中間処理	45	16.8%
最終処分	3	1.1%
収集+中間	121	45.1%
収集+最終	7	2.6%
中間+最終	2	0.7%
収集+中間+最終	18	6.7%
合計	268	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	49	18.3%
建設業	79	29.5%
製造業	26	9.7%
その他	65	24.3%
建設業+製造業	12	4.5%
建設業+その他	29	10.8%
製造業+その他	5	1.9%
建設業+製造業+その他	3	1.1%
合計	268	100.0%